

湖東三山 龍應山西明寺

りゅうおうざんさいみょうじ

〔滋賀県犬上郡甲良町〕

由来

龍應山西明寺は、平安時代の初期に当たる承和元年(834)に、三修上人(慈勝上人)が仁明天皇の勅願により開創された天台宗寺院です。

その由来は寺伝によると、ある日、三修上人が琵琶湖の西岸を歩いていると、突如として琵琶湖の東方の彼方より、紫雲が現れまぶしい光が射しました。この雲や光を見た上人は、「この光の源をたずねれば、きっとすばらしい霊地があり、修行中の私に何か悟らしめて、重大な使命が下されるに違いない。」との靈感に打たれました。そして、その光明を目指して湖東の山中に分け入ると、一筋の光明を放つ池があったのです。

上人は、「このような有難いまぶしいご光明を放たれるのには、何か事情があるのでしょうか。この清浄な霊地から湧き出づる泉を通しての光明は、何を暗示しているのでしょうか。どうかご教示願いたい。」と池に向かって一心に祈念なされました。やがて、不思議なことに薬師如来の尊像が現れ、その後に日光菩薩、月光菩薩、続いて十二神将が現れました。

三修上人に帰依していた仁明天皇は、この不思議な出来事を聞くと、この地に勅願寺としてお寺を造るように命じられました。薬師如来が放った光が、仁明天皇がいらっしゃる京都の宮中に向かって、西方を明るく照らしたことで、「西明寺」と名付けられました。

また、西明寺の山号の由来は、西明寺のある場所が琵琶湖を中心として、東に位置していることから、東西南北の四方を護る天の四神(東…青龍、西…白虎、南…朱雀、

北…玄武)の内の青龍が護り、人々の願いに応じる寺院故に「龍應山」と名付けられました。

沿革

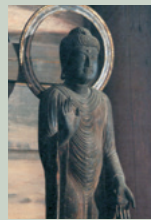
西明寺は、琵琶湖の東側にある湖東三山の一つで、平安、鎌倉、室町の各時代を通じて、祈願道場、修行道場として栄え、山内には十七の諸堂、三百の僧坊があったといわれています。また、源頼朝が来寺して戦勝祈願されたと伝えられています。しかし、元亀二年(1571)に織田信長は比叡山を焼き討ちして、その直後に当寺も焼き討ちをしましたが、幸いにして本堂(国宝第1号指定)、三重塔(国宝)、二天門(重文)等が火難を免れ現存しております。

境内一円には1,000本を数えるもみじがあり、紅葉の名所としても知られ、アメリカの放送局「CNN」が選んだ「日本でもっとも美しい場所34選」の一つとして世界にも紹介されています。

建造物と寺宝

本堂は、鎌倉時代初期に飛騨の匠が建立した純和様建築で、釘を使用していません。屋根は檜皮葺で、正面全面の部戸や柱上組物を飾る臺股等素晴らしい構成美で、鎌倉の様式が保存されています。

三重塔(表紙写真)は鎌倉時代後期に飛騨の匠が建立した純和様建築で、本堂と同じく釘を使用していません。屋根は檜皮葺であり、総檜の建物です。初層内部の壁画は巨勢一派の画師が描いたもので、塔内一面に法華經の図解、大日如来の脇侍仏三十二菩薩、宝相華等が純度の高い岩絵の具で



極彩色に画かれていて、鎌倉時代の壁画としては国内唯一のものであるといわれています。

塔は二重・



三重の屋根間隔を小さくして安定感を持たせた建物で、全体の調和に優れ、その建築美は三重塔の中でも屈指のものといわれています。

また、本堂後陣に安置されている諸仏は焼き打ちの際、数多くの坊舎から運び込まれ難を逃れました。その一つ、釈迦如来立像は京都・嵯峨にある清涼寺の像(国宝)の模刻で、応波式の波文様は檜材の木目と調和がとれています。

(写真上) 重要文化財 釈迦如来立像(鎌倉時代)

(写真中) 極楽浄土を表現したという三重塔の初層内部

(写真下) 国宝 本堂(瑠璃殿)全景



平成30年度 第9回 定時会員総会の開催 事業報告など

5月15日(火)に京都市文化財建造物保存技術研修センターに於いて、第9回定時会員総会を開催いたしました。
39期事業報告、収支決算などについて慎重に審議され、原案通り議決、承認されました

平成29年度 事業報告

①文化財屋根葺士養成研修事業 (国庫補助事業)

1) 第22期生 養成研修 開始(後期)

人数●4名

期間●平成29年5月8日(月)～10月10日(火)

研修場所●京都研修センター(京都市東山区)、奈良
方面他

研修区分●講義200時間、実習728時間

②檜皮採取者(原皮師)養成研修事業 (国庫補助事業)

1) 第17期生 初級養成研修 開講式

人数●4名

日時●平成29年4月13日(木)10:30～11:45

会場●京都研修センター(京都市東山区)

2) 第17期生 初級養成研修 開始

人数●4名

期間●平成29年8月21日(月)～平成30年2月
14日(水)

研修場所●【講義】京都研修センター(京都市東山区)
【実習】国有林/[中部森林管理局管内]蘭
(長野)、[近畿中国森林
管理局管内]高野山(和
歌山)

市有林/[河内長野市]千石谷文
化財の森(大阪)

民有林/[岡室進(三重)、楊谷寺
(京都)]

演習林/[九州大学農学部附属(福
岡)]

研修区分●講義32時間、実習824時間
(内査定会16時間)

3) 中級研修生(原皮師)研修開始

人数●24名

期間●平成29年9月4日(月)～平成30年2月
16日(金)

研修場所●国有林/[近畿中国森林管理局管内]宮島
(広島)、坂ノ谷(兵庫)、地獄
谷(奈良)、城山(山口)

研修区分●実習864時間(内査定会16時間)

4) 採取指導者会議

参加者●22名(指導員1名、原皮師16名、会長、
担当理事3名、事務局1名)

期 日●平成29年5月23日(火)

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●事業方式、指導要項

5) 査定会ランク付協議会

参加者●6名(指導員1名、担当理事3名、事務局
2名)

期 日●平成30年3月1日(木)

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●査定ランク付け

6) 檜山の調査及び打合せ

①調査場所●宮島国有林(広島県廿日市市)

調査員●8名(指導員1名、原皮師4名、担当理
事2名、事務局1名)

期 日●平成29年5月26日

②調査場所●城山国有林(山口県岩国市)

調査員●3名(指導員1名、担当理事1名、事務
局1名)

期 日●平成29年7月7日

③調査場所●地獄谷国有林(奈良県高畑町)

調査員●6名(指導員1名、原皮師2名、担当理
事2名、事務局1名)

期 日●平成29年6月5日

④調査場所●高野山国有林(和歌山県伊都郡)

調査員●1名(指導員1名)

期 日●平成29年11月6日

⑤調査場所●秩父市有林(埼玉県秩父市)

調 査 員●2名(担当理事2名)

期 日●平成29年6月26日

⑥調査場所●蘭国有林(長野県木曾郡)

調 査 員●1名(指導員1名)

期 日●平成29年7月24日

①打合場所●河内長野市役所(大阪府河内長野市)

人 数●3名(担当理事2名、事務局1名)

期 日●平成29年5月22日

②打合場所●近畿中国森林管理局(大阪市北区)

人 数●4名(担当理事3名、事務局1名)

期 日●平成29年5月24日

③打合場所●山口森林管理事務所(山口市野田)

人 数●3名(担当理事2名、事務局1名)

期 日●平成29年5月25日

④打合場所●広島森林管理署(広島市中区)

人 数●3名(担当理事2名、事務局1名)

期 日●平成29年5月25日

⑤打合場所●奈良森林管理事務所(奈良市赤膚町)

人 数●3名(担当理事2名、事務局1名)

期 日●平成29年6月5日

⑥打合場所●京都研修センター(京都市東山区)

人 数●10名(秩父市役所4名、会長、副会長、
担当理事3名、事務局1名)

期 日●平成29年8月21日

①見学会会場●京都大学・周南市連携講座(山口県周
南市／京都大学・周南市主催)

人 数●1名(原皮師1名)

期 日●平成29年10月14日

②見学会会場●長野県林業大学校(長野県木曾郡)

人 数●1名(指導員1名)

期 日●平成29年10月25日

③見学会会場●南木曾小学校(長野県木曾郡)

人 数●1名(指導員1名)

期 日●平成29年10月26日

④見学会会場●奈良森林管理事務所(奈良市赤膚町)

人 数●2名(担当理事2名)

期 日●平成29年12月2日

7) 初級・中級研修生(原皮師)採取技術査定会

参 加 者●27名(研修生11名、査定員5名、正会員
9名、事務局2名)

期 日●平成29年10月5日(木)・6日(金)

会 場●宮島国有林(広島県廿日市市)

8) 歩道整備

参 加 者●5名(指導員1名、原皮師4名)

期 間●平成29年10月10日(火)～20日(金)

場 所●賤母国有林(長野県木曾郡)

9) 檜皮採取原皮師研修(自主事業)

参 加 者●9名

期 間●平成29年10月23日(月)～平成30年1月
19日(金)

研修場所●【実習】

国有林／[中部森林管理局管内] 賤母(長
野)

演習林／京都大学農学部附属フィールド
科学教育研究センター 里域ス
テーション 徳山試験地(山口)

研修区分●実習424時間

③茅葺師養成研修事業(国庫補助事業)

1) 第4期生 茅葺師養成研修(初級)後期 開始

人 数●2名

期 間●平成29年5月8日(月)～平成30年2月24
日(土)

研修場所●[講義] 京都研修センター(京都市東山区)等
[実習] 山南研修センター(兵庫県丹波市)
西の湖(滋賀県近江八幡市)

研修区分●講義80時間、実習248時間

2) 茅葺師養成研修(中級)

人 数●3名

期 間●平成29年9月4日(月)～10月3日(火)

研修場所●普門山安養寺(京都府京丹後市)

内 容●茅葺研修

研修区分●実習176時間

3) 茅葺協議会(フォーラム)

参 加 者●37名

期 日●平成29年9月26日(火)

会 場●普門山安養寺(京都府京丹後市)

内 容●建物・現場見学及び協議会

4) 茅取納庫入荷の茅調査視察(自主事業)

調査場所●大内宿(福島県南会津郡)

調査員●2名(担当理事2名)

期 日●平成29年7月2日(日)・3日(月)

[実技]平成29年10月16日(月)～19日(木)

1名

[講義・学科]平成29年10月21日(土)

2名

[採点]平成29年10月21日(土)

外部検定員5名

(滋賀県、京都府、奈良県、(公社)全国
国宝重要文化財所有者連盟、(公財)文
化財建造物保存技術協会 各担当者)

内部検定員8名

(担当理事2名、正会員6名)

4 「主任文化財屋根葺士」検定会

(京都市助成金)

1) 檜皮・柿屋根葺士の認定

①第17回(檜皮・柿葺)

人 数●5名(檜皮・柿葺士)

期 間●平成29年10月16日(月)～21日(土)

研修場所●山南研修センター(兵庫県丹波市)

事業内容●主任文化財屋根葺士の認定・採点(檜皮・
柿葺)

[実技]平成29年10月16日(月)～20日(金)
4名

[講義・学科]平成29年10月21日(土)
5名

[採点]平成29年10月21日(土)

外部検定員5名

(滋賀県、京都府、奈良県、(公社)
全国国宝重要文化財所有者連盟、
(公財)文化財建造物保存技術協
会 各担当者)

内部検定員8名

(担当理事1名、会長、常務理事、
理事4名、内部監事1名)

②採点集計

人 数●2名(担当理事2名)

期 日●平成29年11月2日(木)

場 所●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●第9回検定会採点集計他

③合格発表

人 数●2名(茅葺師)

期 日●平成29年11月18日(土)

場 所●山南研修センター(兵庫県丹波市)

内 容●第9回検定会合格発表他

3) 主任文化財屋根葺士 認定証更新講習会

参 加 者●14名(正会員1名、準会員13名)

日 時●平成29年11月25日(土)10:30～15:00

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●認定証の更新講習会

②採点集計

人 数●2名(担当理事2名)

期 日●平成29年11月2日(木)

場 所●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●第17回検定会採点集計他

③合格発表

人 数●5名(檜皮・柿葺士)

期 日●平成29年11月18日(土)

場 所●山南研修センター(兵庫県丹波市)

内 容●第17回検定会合格発表他

2) 茅葺師の認定

①第9回(茅葺)

人 数●2名(茅葺師)

期 間●平成29年10月16日(月)～19日(木)、
21日(土)

研修場所●山南研修センター(兵庫県丹波市)

事業内容●主任文化財屋根葺士の認定・採点(茅葺)

5 部会

茅部会(国庫補助事業)

①人 数●13名

日 時●平成29年5月17日(水)9:30～17:00

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●茅葺に関する問題点等

②人 数●13名

日 時●平成30年1月16日(火)10:30～17:00

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●養成研修指導員選定について等

6 研修会

1) 指導者研修会

①参 加 者●28名(正会員26名、名誉会員1名、企
画委員1名)

日 時●平成29年5月16日(火)13:30～16:00
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●【講演】「柿葺屋根の早期劣化の現状と課題」
[講師] 京都大学大学院 農学研究科
森林科学専攻 教授 藤井 義久
【意見交換会】

②参加者●17名(正会員13名、名誉会員1名、事務局1名他)
日 時●平成29年9月21日(木)10:00～16:00
会 場●木曾森林管理署管内 赤沢自然休養林
(長野県木曾郡)
内 容●【講演】「木曾地域における天然資源の現状と今後の生産供給計画について」
[講師] 中部森林管理局 森林整備部
企画官 永瀬 庄栄
【赤沢美林見学】
[説明] 中部森林管理局 木曾森林管理
署 業務グループ 松原 正志

2) 文化財研修会

参加者●114名
日 時●平成29年6月16日(金)12:50～16:00
会 場●正暦寺(奈良市菩提山町)
内 容●【建造物・保存修理現場見学】
[見学場所] 正暦寺福寿院保存修理現場
[説明] 奈良県教育委員会事務局 文化
財保存事務所 称念寺出張所
主任 中田 宏和
【講話】「正暦寺の歴史について」
[講師] 菩提山正暦寺 住職 大原 弘信
【講演】「板葺文化の歴史について」
[講師] (公社)全国社寺等屋根工事技術
保存会 名誉会長 鈴木 嘉吉

7 普及啓発事業

1) 特別講座

【後援/公益財団法人 大学コンソーシアム京都】

①第1回
参加者●31名
日 時●平成29年8月5日(土)14:00～16:00
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●【講演】「文化財修理と国際交流」
[講師] 株式会社 宇佐美松鶴堂
宇佐美 直八

②第2回
参加者●23名
日 時●平成29年10月28日(土)14:00～16:00
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●【講演】「蘇山の青瓷」
[講師] 蘇山窯 四代 諏訪蘇山

③第3回
参加者●41名
日 時●平成30年2月17日(土)14:00～16:00
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●【講演】「京都洛中の酒造の歴史と食文化」
[講師] 佐々木酒造株式会社
代表取締役 佐々木 晃

2) 佐賀市立金泉中学校自主研修

人 数●5名
期 日●平成29年5月17日(水)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●伝統的屋根葺技術の紹介、檜皮葺実演、
屋根葺体験、インタビュー等
参加者●金泉中学校 3年生5名、引率教諭1名

3) 日本の技 体験フェア(文化庁主催)

人 数●8名(会長、担当理事2名、監事1名、企画委員4名)
期 間●平成29年9月29日(金)～10月1日(日)
会 場●さいくう平安の杜、いつきのみや地域交流
センター(三重県多気郡明和町)
内 容●模型展示、屋根葺道具、パネル展示、屋根
材拵え実演、屋根葺体験
来 場 者●8415名

4) 京都女子大学 家政学部 生活造形学科「伝統技法演習」

人 数●5名(会長、担当理事2名、屋根葺士2名)
期 日●平成29年11月8日(水)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●伝統的屋根葺技術の説明、檜皮材拵え実演、
屋根葺体験
引 率 者●京都女子大学
教授 斎藤 英俊、村田 信夫
参加者●学生 約70名

5) 京都橘大学「産業文化論」

人 数●4名(会長、副会長、常務理事、事務局1名)
期 日●平成29年11月16日(木)
会 場●京都橘大学(京都市山科区)
内 容●伝統的屋根葺技術の講演
参加者●学生 約35名

6) 森の郷なかなた産物組合「講演」

人数●1名(会長)
期日●平成30年3月15日(木)
会場●京都研修センター(京都市東山区)
内容●伝統的屋根葺技術の講演
参加者●15名

[参加者] 16名
[日時] 平成29年12月8日(金)9:00~12:00
[場所] 鞍馬山国有林(京都市左京区)

7) 平成29年度 ふるさと文化財の森システム推進事業 普及啓発事業「森が支える日本の技術2017 公開セミナー」(文化庁と契約)

期日●平成29年11月3日(金)・4日(土)、12月8日(金)
後援●京都府教育委員会、京都市教育委員会、林野庁 近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所、公益財団法人 大学コンソーシアム京都、公益財団法人 京都古文化保存協会、公益財団法人 京都市文化観光資源保護財団
会場●京都研修センター(京都市東山区)、清水寺(京都市東山区)、鞍馬山国有林(京都市左京区)、高台寺山国有林(京都市東山区)、清水寺 本堂保存修理現場(京都市東山区)

【文化財講演会】

[参加者] 64名(一般応募者)
[日時] 平成29年11月4日(土)10:15~11:15
[会場] 京都研修センター(京都市東山区)
[演題]「清水寺の梵鐘」
[講師] 清水寺 貫主 森 清範

【「未来につなぐ匠の技」～伝統的屋根工事技法の紹介～】

[参加者] 約2500名
[日時] 平成29年11月3日(金)9:30~16:00、4日(土)9:30~15:00

【へぎ板ワークショップ～子供向けプログラム～】

[参加者] 3組7名(事前申込み)+当日受付100名
[日時] 平成29年11月3日(金)13:00~16:00、4日(土)13:00~15:00
[講師](公社) 全国社寺等屋根工事技術保存会 理事 栗山 弘忠

【将来の担手養成に関するプログラム】

- 文化財建造物を支える資材・技術に関する講義
[参加者] 27名(若手技術者、建築を専門とする学生他)
[日時] 平成29年11月3日(金)10:15~11:45
[演題]「柿葺の経年劣化について考える」
[講師] 京都大学大学院 農学研究科 森林科学専攻 教授 藤井 義久

- 保存修理現場見学
[参加者] 文化財講座、文化財講演会参加者
[日時] 平成29年11月3日(金)13:00~15:00、4日(土)15:00~16:00

【資材採取方法の実演、展示、研修】

- 檜皮採取実演
[参加者] 20名(文化財講演会参加者)
[日時] 平成29年11月4日(土)13:00~14:30
[場所] 高台寺山国有林(京都市東山区)
- ふるさと文化財の森を活用した資材育成・確保の取組(パネル展示)
[日時] 平成29年11月3日(金)・4日(土)9:30~16:00
- 資材の重要性の理解、採取方法を習得するための研修(ヒノキの植樹)

【京都府名誉友好大使の活用】

[人数] 7名
[期日] 平成29年11月3日(金)・4日(土)
[協力] 京都府国際課

8) 文化財修理用屋根葺資材の確保事業

刈取量●大内宿 茅場/刈取束数228段
河内長野茅場/刈取束数1450束

9) 檜皮採取契約(国有林は買受申込)

- 1) 契約日●平成29年7月25日
採取場所●[奈良森林管理事務所] 地獄谷国有林(奈良市高畑町)
- 2) 契約日●平成29年8月8日
採取場所●[広島森林管理署] 宮島国有林(広島県廿日市市)
- 3) 契約日●平成29年9月8日
採取場所●[兵庫森林管理署] 坂ノ谷国有林(兵庫県宍粟市)

- 4) 契約日●平成29年10月10日
採取場所●[和歌山森林管理署]
高野山国有林(和歌山県伊都郡)
- 5) 契約日●平成29年10月10日
採取場所●[南木曾支署]
賤母国有林(長野県木曾郡)(自主事業)
- 6) 契約日●平成29年10月10日
採取場所●[南木曾支署]
蘭国有林(長野県木曾郡)
- 7) 契約日●平成29年11月13日
採取場所●河内長野市有林(大阪府河内長野市)
- 8) 契約日●平成29年12月18日
採取場所●[山口森林管理事務所]
城山国有林(山口県岩国市)
- 9) 契約日●平成29年12月20日
採取場所●岡室進民有林(三重県熊野市)
- 10) 契約日●平成29年12月16日、平成30年2月21日
採取場所●京都大学フィールド科学教育研究センター里域ステーション 徳山試験地(山口県周南市)(自主事業)
- 11) 契約日●平成30年2月23日
採取場所●九州大学農学部附属演習林(福岡県糟屋郡)
- 12) 契約日●平成30年2月24日
採取場所●楊谷寺境内林(京都府長岡京市)

10 賃貸事業

京都市文化財建造物保存技術研修センター

① 公益関係

期 間●平成29年4月～平成30年3月
貸 与 先●京都市、文化財量保存会、社寺建造物美術保存技術協会、全国伝統建具技術保存会、文化財建造物勉強会、京都モデルフォレスト協会、森の郷なかなた産物組合

② その他

期 間●平成29年4月～平成30年3月
貸 与 先●京都旅企画、CrossroadsMakoto

11 会報等の発行

保存会に必要な事業実施の報告等を内容とした会報を発行。

- [古文化] 第114号／平成29年7月31日発行
第115号／平成29年11月30日発行
第116号／平成30年3月31日発行
[手 練] 第12号／平成29年7月31日掲載(HPのみ)

12 その他法人の目的を達成するために必要な事業

1) 全国文化財保存技術連合会

平成29年度総会

- 日 時●平成29年9月30日(土)18:00～18:40
会 場●フレックスホテル2階 バルホール(三重県松阪市中央町36-8)
議 題●①平成28年度事業報告及び収支決算について
②平成30年度事業計画及び収支予算について

2) 公益社団法人 全国国宝重要文化財所有者連盟

平成29年度伝統技術保存団体連絡協議会

- 日 時●平成30年3月16日(金)14:00～17:20
会 場●ルビノ京都堀川(京都市上京区)
内 容●文化財の保存と修理技術の伝承

3) 「伝統建築工匠の技」の保存、活用及び発展を推進する会

全体会議

- 日 時●平成29年12月7日(木)13:30～
会 場●国立科学博物館 日本館 1階 講堂(東京都台東区)
内 容●木造建造物に係る伝統的な技術・技能のユネスコ無形文化遺産への登録提案に関する活動についての協議

4) 文化財修理技術保存連盟

平成29年度通常総会

- 日 時●平成29年7月19日(水)13:30～
会 場●パレスサイドホテル(京都市上京区)
内 容●(1)平成28年度事業活動について
(2)平成29、30年度期・理事長、副理事長の選出
(3)平成29年度事業計画について
(4)その他

収支決算書総括表

平成29年4月1日から平成30年3月31日

1. 収入の部

(単位;円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計
入会金等収入	370,000	370,000						
会費収入	7,422,000	7,422,000						
寄付金収入	0	0						
国庫補助金収入	42,000,000					8,000,000	10,000,000	24,000,000
助成金	1,000,000				1,000,000			
負担金収入	5,371,349				269,683	1,854,209	392,448	2,855,009
雑収入	240,948	1,066	239,333	510	0	11	8	20
事業収入	19,349,320		18,927,900	421,420				
受託費収入	1,985,095		1,985,095					
繰入金収入	1,500,000	0		1,500,000				
当期収入合計	79,238,712	7,793,066	21,152,328	1,921,930	1,269,683	9,854,220	10,392,456	26,855,029
前期繰越収支差額	14,597,076	1,181,855	13,114,214	301,007	0	0	0	0
収入合計	93,835,788	8,974,921	34,266,542	2,222,937	1,269,683	9,854,220	10,392,456	26,855,029

2. 支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計
一般管理費	16,071,068	7,042,087	7,712,039	1,316,942				
管理委託費	722,398			722,398				
茅場管理事業費	139,906		139,906					
売上材料原価	2,950,200		2,950,200					
養成関連事業費	386,480		386,480					
研修会事業費	1,615,395		1,615,395					
普及活動事業費	2,954,849		2,954,849					
檜皮採取事業費	6,620,636		6,620,636					
助成金事業費	1,269,683				1,269,683			
屋根養成研修費	9,854,220					9,854,220		
茅葺技能者研修費	10,392,456						10,392,456	
採取者養成研修費	26,855,029							26,855,029
繰入金支出	1,500,000		1,500,000					
当期支出合計	81,332,320	7,042,087	23,879,505	2,039,340	1,269,683	9,854,220	10,392,456	26,855,029
当期収支差額	-2,093,608	750,979	-2,727,177	-117,410	0	0	0	0
次期繰越収支差額	12,503,468	1,932,834	10,387,037	183,597	0	0	0	0

平成30年度事業計画

①文化財屋根葺士養成研修事業 (国庫補助事業)

1) 第22期生 修了式

人数●4名
日時●平成30年4月13日(金)10:30~11:50
会場●京都研修センター(京都市東山区)

2) 第23期生 開講式

人数●4名
日時●平成30年4月13日(金)10:30~11:50
会場●京都研修センター(京都市東山区)

3) 第23期生 前期の研修開始

人数●4名
期間●平成30年5月8日(火)~9月7日(金)予定
研修区分●講義144時間 実習568時間
見学場所●京都研修センター(京都市東山区)
実習場所●兵庫方面等

②檜皮採取者(原皮師)養成研修事業 (国庫補助事業)

1) 第17期生 初級養成研修 修了式

人数●4名
日時●平成30年4月13日(金)10:30~11:50
会場●京都研修センター(京都市東山区)

2) 第18期生 初級養成研修 開講式

人数●4名
日時●平成30年4月13日(金)10:30~11:50
会場●京都研修センター(京都市東山区)

3) 第18期生 初級養成研修 開始

人数●4名
期間●平成30年8月21日(火)~平成31年2月15日(金)予定
研修場所●【講義】京都研修センター(京都市東山区)等
【実習】国有林/[近畿中国森林管理局管内]那岐山(岡山)、三上山(滋賀)予定
市有林/[河内長野市]千石谷文化財の森(大阪)、[秩父市]旧大滝村栃本(埼玉)予定
演習林/九州大学農学部附属(福岡)予定

研修区分●講義32時間、実習880時間(内査定会16時間)

4) 中級研修生(原皮師)研修開始

人数●22名
期間●平成30年10月9日(火)~平成31年2月15日(金)予定
研修場所●国有林/[近畿中国森林管理局管内]三上山(滋賀)予定
民有林/徳山試験地(山口)予定
研修区分●実習536時間(内査定会16時間)

5) 採取指導者会議

参加者●21名
期日●平成30年5月22日(火)
会場●京都研修センター(京都市東山区)

6) 森林管理署等の巡回視察

人数●4名
期間●平成30年4月~8月 予定
場所●中部森林管理局管内(長野)、近畿中国森林管理局管内(岡山、滋賀、広島)等

7) 研修生(原皮師)採取技術査定会

参加者●27名
期日●平成30年10月4日(木)・5日(金)予定
場所●両山寺(岡山)

8) 檜山の調査

人数●10名
期間●平成30年4月~8月 予定
調査場所●近畿中国森林管理局管内他

9) 檜皮採取 原皮師研修(自主事業)

人数●26名
期間●平成30年9月3日(月)~12月14日(金) 予定
研修場所●国有林/[中部森林管理局管内]賤母(長野)、[近畿中国森林管理局管内]宮島(広島)、別所(滋賀)、城山(山口) 予定
研修区分●実習776時間

10) 檜山の調査(自主事業)

人数●5名
期間●平成30年4月~8月 予定
調査場所●近畿中国森林管理局管内

3 茅葺師養成研修事業(国庫補助事業)

1) 第4期生 茅葺師養成研修(初級)修了式

人数●2名
日時●平成30年4月13日(金)10:30~11:50
会場●京都研修センター(京都市東山区)

2) 茅葺師養成研修(中級)

人数●9名予定
期間●平成30年6月~平成31年2月末 予定
研修区分●実習408時間
研修場所●山南研修センター、吉田神社、西予市城川町茶堂他

3) 茅葺協議会(茅葺きフォーラム)

人数●50名
期日●平成30年9月 予定
会場●吉田神社(京都市左京区)他
事業内容●全国の技能者を対象とした茅葺の協議会

4) 茅部会

参加者●13名
期日●平成30年5月16日(水)
研修場所●京都研修センター(京都市東山区)
内容●「主任文化財屋根葺士」検定会及び茅葺に関する問題点等

5) 葺刈研修

人数●10名
期日●平成31年2月 予定
研修場所●西の湖(滋賀県近江八幡市)
事業内容●全国の技能者を対象とした葺刈りの体験実習

6) 研修場所の調査視察

人数●2名
期日●平成30年7月 予定
調査場所●未定

4 「主任文化財屋根葺士」検定会 (京都市助成金)

1) 檜皮・柿屋根葺士の認定

第18回(檜皮・柿葺)
人数●4名
期間●平成30年10月15日(月)~20日(土)
研修場所●山南研修センター(兵庫県丹波市)
事業内容●檜皮・柿葺士として10年以上従事し、

今後とも活動する意志があると認められる葺士を対象として、年1回屋根葺の高度な技術及び知識を修得しているか否かを実技、座学で評価する。合格者には認定書を発行する。

2) 茅葺師の認定

第10回(茅葺)
人数●2名
期間●平成30年10月15日(月)~20日(土)
研修場所●山南研修センター(兵庫県丹波市)
事業内容●茅葺師として10年以上従事し、今後とも活動する意志があると認められる葺師を対象として、年1回屋根葺の高度な技術及び知識を修得しているか否かを実技、座学で評価する。合格者には認定書を発行する。

3) 主任文化財屋根葺士 認定証更新講習会

参加者●19名
期日●平成30年11月24日(土) 予定
会場●京都研修センター(京都市東山区)
内容●認定証の更新講習会

5 研修会

1) 指導者研修会

参加者●30名
日時●平成30年6月22日(金)13:30~16:30
会場●京都研修センター(京都市東山区)
内容●【講義】「これからの文化財の保存と活用について」
[講師]文化庁地域文化創生本部
岡本 公秀、村上 佳代
【意見交換会】

2) 文化財研修会

参加者●80名
期日●平成30年9月7日(金) 予定
会場●西本願寺 飛雲閣(京都市下京区)
内容●現場見学や文化財講演会を通じ、古来より先人達が築いてきた心と技を学ぶ。

6 普及啓発事業

1) 特別講座

参加者●各50名
期間●平成30年6月~12月 計2回 予定

会場 ● 京都研修センター(京都市東山区)
内容 ● 広く一般の方々を対象に日本の伝統文化のみならず様々な分野から講師を招き、講演会を開催。

2) 日本の技 体験フェア(文化庁主催)

人数 ● 10名(保存会関係者)
期日 ● 平成30年10月27日(土)・28日(日)
会場 ● 南熱海マリナーホール(静岡県熱海市下多賀)

3) ふるさと文化財の森 森が支える日本の技術 2018公開セミナー

期日 ● 平成30年11月2日(金)・3日(土)他予定
会場 ● 京都研修センター(京都市東山区)他

7 文化財修理用屋根葺資材の確保事業

檜皮資材確保及び茅資材確保

優良な檜皮資材及び茅材の生産と確保の為、檜皮山管理及び茅場管理と単価に見合う良質な檜皮や茅を確保できるよう当会の会員に一層の協力を依頼する。

8 檜皮採取の契約及び買受申込

国有林 ● [中部森林管理局管内] 賤母(長野)、[近畿中国森林管理局管内] 那岐山(岡山)、三上山・別所(滋賀)、宮島(広島)、城山(山口)
市有林 ● [河内長野市] 千石谷文化財の森(大阪)、[秩父市] 旧大滝村栃本(埼玉)
民有林 ● 九州大学農学部附属演習林(福岡)、徳山試験地(山口)等

9 賃貸事業

市民の文化の向上及び発展に資するため、文化財建造物その他の文化財を保存するための技術の継承を図るための事業を実施する法人等に施設を貸与する。

京都市文化財建造物保存技術研修センター

期間 ● 平成30年4月～平成31年3月
貸与先 ● 京都市、(一財)全国伝統建具技術保存会、文化財量保存会及び各種選定保存技術保存団体等

10 会報等の発行

保存会に必要な事業実施の報告等を内容とした会報「古文化」を年3回、準会員の「手練」を年1回編集発行。

[古文化] 第117号/平成30年7月31日発行
第118号/平成30年11月30日発行
第119号/平成31年3月31日発行

[手練] 第13号/平成30年7月31日掲載(HPのみ)

11 その他法人の目的を達成するために必要な事業

1) 建造物パトロールの実施

パトロールだけでなく、災害、継年による植物性屋根の状況等の相談も受け付け、保存会で出来る補修方法、その他専門的事項について助言を行う。

2) ふるさと文化財の森システム推進事業 専門委員会

「ふるさと文化財の森設定について等」

期日 ● 平成30年 予定

3) 全国文化財保存技術連合会 総会

期日 ● 平成30年 予定

4) 公益社団法人 全国国宝重要文化財所有者連盟 連絡協議会

期日 ● 平成31年3月 予定

5) 「伝統建築工匠の技」の保存、活用及び発展を推進する会 全体会議

期日 ● 平成30年 予定

新役員の紹介

5月15日(火)に開催された第9回定時会員総会により、平成30・31年度の理事・監事が下記のとおり選出されましたので、ご報告致します。

理事(名誉会長)	鈴木 嘉吉
〃(会長)	村上 英明
〃(副会長)	大野 浩二
〃(常務理事)	宮川 義史
〃	河村 雅史
〃	栗山 弘忠
〃	児島 研輔
〃	友井 辰哉
〃	中野 誠
〃	山田 雅史
監事	田中 敬二
〃(外部監事)	西川 吉典

収支予算書総括表

平成30年4月1日から平成31年3月31日

1. 収入の部

(単位;円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計
入 会 金 収 入	0	0						
会 費 収 入	7,422,000	7,422,000						
寄 付 金 収 入	0	0						
国庫補助金収入	38,000,000					8,000,000	10,000,000	20,000,000
負 担 金 収 入	4,000,000				200,000	800,000	1,000,000	2,000,000
事 業 収 入	14,290,000		13,790,000	500,000				
雑 収 入	102,140	1,030	100,100	1,010				
繰 入 金 収 入	1,500,000	0		1,500,000				
助 成 金	1,000,000				1,000,000			
当 期 収 入 合 計	66,314,140	7,423,030	13,890,100	2,001,010	1,200,000	8,800,000	11,000,000	22,000,000
前 期 繰 越 収 支 差 額	12,503,468	1,932,834	10,387,037	183,597	0	0	0	0
収 入 合 計	78,817,608	9,355,864	24,277,137	2,184,607	1,200,000	8,800,000	11,000,000	22,000,000

2. 支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計
一 般 管 理 費	13,578,540	5,961,000	6,215,000	1,402,540				
管 理 委 託 費	572,328			572,328				
茅 場 管 理 事 業 費	150,000		150,000					
売 上 材 料 原 価	1,670,000		1,670,000					
養 成 関 連 事 業 費	500,000		500,000					
研 修 会 事 業 費	900,000		900,000					
普 及 活 動 事 業 費	2,200,000		2,200,000					
檜 皮 採 取 事 業 費	9,377,000		9,377,000					
森 林 整 備 事 業	500,000		500,000					
助 成 金 事 業 費	1,200,000				1,200,000			
屋 根 養 成 研 修 費	8,800,000					8,800,000		
茅 葺 技 能 者 研 修 費	11,000,000						11,000,000	
採 取 者 養 成 研 修 費	22,000,000							22,000,000
繰 入 金 支 出	1,500,000		1,500,000					
当 期 支 出 合 計	73,947,868	5,961,000	23,012,000	1,974,868	1,200,000	8,800,000	11,000,000	22,000,000
当 期 収 支 差 額	-7,633,728	1,462,030	-9,121,900	26,142	0	0	0	0
次 期 繰 越 収 支 差 額	4,869,740	3,394,864	1,265,137	209,739	0	0	0	0

文化財屋根葺士・檜皮採取者(原皮師)・茅葺師養成研修 修了式 並びに開講式

【修了式】

- 文化財屋根葺士養成研修 第22期生
- 檜皮採取者(原皮師)養成研修 第17期生
- 茅葺師養成研修 第4期生

期日 ■ 平成30年4月13日(金)

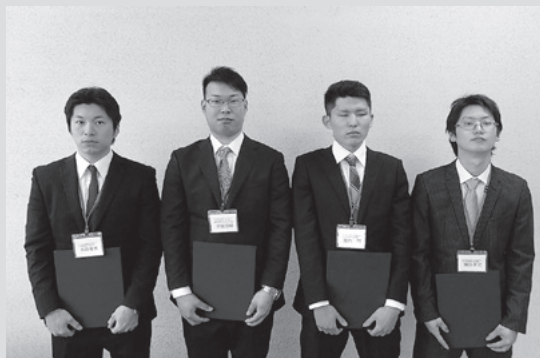
会場 ■ 京都市文化財建造物保存技術研修センター

文化財屋根葺士養成研修第22期生、檜皮採取者(原皮師)養成研修第17期生、茅葺師養成研修第4期生の修了式、並びに文化財屋根葺士養成研修第23期生、檜皮採取者(原皮師)養成研修第18期生の開講式を執り行いました。

今年も御来賓、関係各位の御臨席のもと、研修生たちは皆緊張した面持ちで式に臨みました。本年3月末には文化庁より「伝統建築^{こうしゅう}工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」として、これをユネスコ無形文化遺産に提案されるとの報道がありました。当会もその認定団体として参加させていただくことで、その技術の研鑽に日々努めていかなくてはなりません。研修を修了した10名も新たに研修に励む8名も気を引き締めて一人前の職人を目指し、努力を重ねてください。ご指導をいただきました、関係各位、講師の先生方には心より御礼申し上げます。

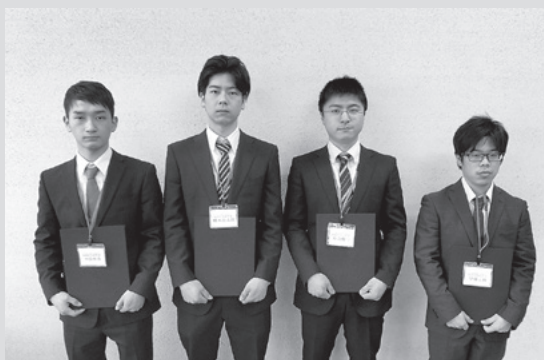
[文化財屋根葺士養成研修 第22期生]

- 高島 優雅 / (有)社寺工芸大紀堂
- 井関 善晴 / (株)友井社寺
- 廣内 翔 / (株)村上社寺工芸社
- 槇原 孝宜 / (株)村上社寺工芸社



[檜皮採取者(原皮師)養成研修 第17期生]

- 時長 祐貴 / 岩崎社寺工業(株)
- 橋本浩太郎 / (株)河村社寺工殿社
- 松島 俊一 / 栗山木工(有)
- 伊藤 元輝 / 谷上社寺工業(株)



[茅葺師養成研修 第4期生]

- 余宮 祥平 / (同)大西茅葺
- 吉川 一生 / 美山茅葺(株)



【開講式】

- 文化財屋根葺土養成研修 第23期生
- 檜皮採取者(原皮師)養成研修 第18期生



村上会長による開会の辞

[文化財屋根葺土養成研修 第23期生]

- 岸田智太郎 / 岸田工業(株)
- 小西 康介 / 小西工芸
- 藤原 諒 / 田中社寺(株)
- 古川 友喜 / 田中社寺(株)



[檜皮採取者(原皮師)養成研修 第18期生]

- 西谷 将太 / (株)河村社寺工殿社
- 井上 裕貴 / 谷上社寺工業(株)
- 井関 善晴 / (株)友井社寺
- 益満 響 / (株)村上社寺工芸社



京都市文化財建造物保存技術研修センター前にて

来賓祝辞

文化庁文化財部参事官付
(建造物担当)
修理指導部門

文化財調査官 黒坂 貴裕



文化財屋根葺士、檜皮採取者(原皮師)、茅葺師の養成研修 修了式ならびに開講式にあたり、一言お祝いを申し上げます。

研修を無事修了された皆さん、お疲れさまでした。長期間にわたる研修により、屋根葺士や原皮師、茅葺師としての技術を習得し、またかけがえのない友人を得ることができたのではないかと思います。また、新たに研修に参加される皆さんは、研修中は体調に留意され、怪我をしないという現場の基本を忘れずに、有意義な研修を過ごしてください。

さて、先月末に文化庁は「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」として、これをユネスコ無形文化遺産に提案するための申請書を提出いたしました。この伝統建築工匠の技は、建造物に関わる選定保存技術14件、その認定団体13団体で構成され、この社寺等屋根工事技術保存会とその技術である檜皮葺・柿葺、茅葺も当然含まれています。

ユネスコ無形文化遺産とは、グローバリゼーションの進展に伴い、世界各地で消滅の危機にある無形文化遺産の保護やその重要性についての意識向上を目的としたものです。無形文化遺産の定義は5種類あり、芸能や祭礼などがありますが、今回の伝統建築工匠の技は、「伝統工芸技術」、「自然及び万物に関する知識及び慣習」に該当します。当然の事ながら、いずれも長い年月を超えてこれからも伝承されていくことが必要です。したがって、伝統建築工匠の技も、技術が伝えられていくことが確保されていなければならない訳ですから、この研修こそが、無形文化遺産としての核であります。また、選定保存技術としても、その定義には、保存の措置を講じるかどうかということが含まれていますので、この研修が選定保存技術としての核であります。

かつては、それぞれの親方もとの徒弟制度という縦の繋がりによって伝承されてきた技術ですが、戦後の高度経済成長以降から現代までの社会の変化においては、その伝承システムの維持には無理があったわけです。そこで、横の繋がりでもピンチを切り抜けて技術を伝承しようという、横の繋がりを選定保存技術団体であり、研修の同期生であります。

木造建造物を受け継ぐための職人としての仕事は、これから長く続けられることと思います。この研修で得ら

れるネットワークや友情は必ず今後の人生の支えとなります。そして、今後、修了生・研修生が大いに活躍されますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

来賓祝辞

兵庫県教育委員会
文化財課

主査 田中 康弘



本日は、文化財屋根葺士養成研修 第22期生及び檜皮採取者(原皮師)養成研修 第17期生・茅葺師養成研修 第4期生が研修課程を無事に修められましたこと、誠にありがとうございます。

日頃は兵庫県の文化財行政にご理解と、ご高配を賜り、この場をお借りしてお礼申し上げます。

本日、この場で修了式を迎えられたみなさん、改めておめでとうございます。今回の講習はいかがでしたでしょうか？ 慣れない座学などで、普段の仕事とは違う大変さがあったのではないのでしょうか？

さて、先ほど黒坂調査官よりお話がありましたが、先日、「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産へ、3月末には提案されるという報道がございました。これは、日本の高度な伝統技術や、これを継承するシステム、自然の材料を循環利用する知恵といった、これまで先人達が培ってきたものが世界に認められようとしている訳です。

遺産とは先人が残した財産という意味がありますが、そういう意味では、その遺産をこの度の研修や、実務を通じてみなさんが受け継いでいるということが言えるのではないのでしょうか。

AI、いわゆる人工知能の発達により、仕事の内容によっては、それらが組み込まれた機械が人間に取って代わるかもしれないとも言われておりますが、皆さんの技術というものは、そのようなものに決して代えることのできないものと断言いたします。ただ、言い換えれば、技術というものは一朝一夕では習得できるものではないということでもありますので、これからも技術の研鑽を積み、そして習得したワザを振るい、全国でご活躍されることを切に願っております。

そして、文化財屋根葺士養成研修 第23期生及び檜皮採取者(原皮師)養成研修 第18期生のみなさん。これからの研修では、思い通りに行かないことや、なかなか理解が進まないことがあるかもしれません。その時は、一人で悩まず、今、隣に座る仲間と共に取り組んでみてください。目の前の障害も、この同期の仲間となら突破することができるでしょう。一緒に取り組む仲間でありライバルと共に、一年間、切磋琢磨してがんばってください。応援しております。

最後に、20年以上の長きに渡り継続して研修を行い、

これまで多くの人材を育成し輩出されてきた保存会関係者の方々におかれましては、並々ならぬご苦労があったことと存じます。これはひとえに、将来の担い手の減少という事態に危機感を持ち、研修を通じて若い方々に技術を伝承する取り組みを業界全体でいち早く取り組まれてこられた保存会の方々の粘り強い努力の結晶だと言っても過言ではありません。改めてお喜び申し上げますとともに、私の祝辞に代えさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

来賓祝辞

和歌山県教育庁生涯学習局
文化遺産課
主任 川戸 章寛



本日、文化財屋根茸士、檜皮採取者(原皮師)、それから茅茸師の養成研修の修了式、及び開講式が、このように盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。また、保存会ははじめ、文化庁、関係機関の皆様には、日頃より大変お世話になっております。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

本日は、10名の研修生の皆さんが修了されるということで、皆さんが習得に励んでおられる檜皮茸、茅茸の技術は、言うまでもなく何百年も昔から続く、我が国が誇る伝統技術であります。このたび修了された研修も、文化財屋根茸士で第22期ということで、研修自体も長い歴史を持つようになってきました。このように継続して長く研修を開催されている保存会の皆様の御尽力に対し、改めて敬意を表するものであります。

さて、研修生の皆さんは、これから本格的に仕事に入っていきますが、皆さんにはぜひ、この先ずっと長く仕事を続けていってほしいと思います。日々の努力、一日一日を大切に過ごすことが伝統技術の習得には重要と思えますが、それを10年、20年、30年とし続けることによって、見えてくる世界があるかと思えます。檜皮茸、茅茸のお仕事を、長く続けていかれることを切に祈っております。

もちろん、そのためには皆さんが仕事を続けられる環境づくりと言いますか、習得された技術を存分に発揮できる現場がなければなりません。行政といたしましても、皆さんの活躍の場が少しでも広がるよう、努力していきたいと思っております。立場は違いますが、それぞれの立場で、ともに日本の伝統文化継承のために頑張っていけたらと考えております。

そして、本日、新しく養成研修に入られる8名の皆さん、最後まで元気に研修を終えられるよう、体調に留意して頑張ってください。

以上、簡単ではございますが、研修生の皆さんの今後の御活躍と保存会の益々の御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、本当におめでとうございます。

修了生謝辞

文化財屋根茸士養成研修
第22期生 高島 優雅



私達はこの研修生活の中でたくさんのことを学ぶことができました。授業で学んだこと、現場で学んだこと、ここにいる研修生一人一人がここでしか経験できない様々な貴重な経験を積み、学ぶことの楽しさや、一生の財産となる知識・技術を身につけたと思います。

楽しかったこともたくさんありますが、失敗したときに指導していただき、鍛えていただいたこと、教えていただいたことは忘れることはありません。この2年間にいろんな出来事がありましたが、一生忘れない大切なものをこの2年間で得ることができたと思います。今日でこの研修が終わってしまうのはとても寂しいです。この先の期待と、またどんなことがあるのかという不安の中で、この研修のこと、学んだことを忘れないで成長していきたいです。そして教えていただきました先生方やお世話になった皆様のことを忘れることなく、学んだことをしっかりと胸に抱き、伝統を受け継ぎ、次の世代の手本になれるよう頑張っていきたいと思えます。

最後に本日ご出席いただきました皆様、誠にありがとうございます。

以上をもちまして、修了生代表の挨拶とさせていただきます。



講師祝辞

公益社団法人
全国国宝重要文化財所有者連盟
常務理事 事務局長 後藤 佐雅夫



本日は文化財屋根葺士養成研修第22期生・檜皮採取者養成研修第17期生・茅葺師養成研修第4期生修了式・文化財屋根葺士養成研修第23期生・檜皮採取者養成研修第18期生開講式に先立ち講師を代表して祝辞をさせていただくこと光栄に存じます。心からお祝い申し上げます。

私はこの会では任意団体のころからの付き合いで、半世紀以上になり、京都府教育庁文化財保護課在任中から本格的に講師を引き受けてまいりました。その当時の研修を受けた方々の内、村上会長をはじめ役員として活躍されていることに感慨深いものがあります。

このたび研修を修了された方は研修と仕事を両立され、大変だったことと存じますが、多くの技術と知識を得られましたことは何にも勝る財産であります。これからは、我が国の財産であり、世界遺産にも登録されている国宝・重要文化財の修理に従事されることであり、文化財所有者としては、皆様の技術を期待しています。私は所有者から未指定の屋根葺き替えの修理工事の監督を依頼されますが、研修を修了された方から声を掛けられ、うれしく存じます。私も65年前に文化財修理の技術者として滋賀県教育委員会に採用頂きましたが、当時の檜皮の検査は今から考えれば大変厳しいものであり、現在では考えられないものであります。高齢者になった今も檜皮に対する情熱は変わっていません。

皆様が研修を終えても、神社建築・寺院建築・民家建築とそれぞれの構造が違いますのでそのあたりを考えながら、作業をしていただきたいと思います。

仕事で疲れ、勉強どころではないかと思いますが、私が結婚するときのはなむけの言葉として家に帰ったら30分でもよいから、今日の反省と明日の段取りをしてから夕食にきなさいと言われてました。夜に段取りしておくとも明日の仕事が順調に施工できます。

最近、檜皮葺の現場を見せていただきましたが、一か所、軒廻り付近で「ねこで」があり、軒廻りの落ち込みが出来ていないのがありました。私の師匠が一番嫌がる仕事です。軒廻りや平葺の定規を作り、監督さんの許可を得て実施してください。研修所で良い点をとっても本番で悪ければなんにもなりません。

檜皮採取者も恵まれない環境の中で大変な仕事であります。鉄則として木の性質を考えること、甘皮を剥かな

いことなど注意するとともに、一番大切なものとして振り縄の使い方を十分に練習しないと命にかかわる問題があります。

茅葺の問題ですが、現職中に民家所有者から茅の締め方が悪いと注意され、ある寺の茶室の屋根にはカラス除けのネットが張ってあります。これらについても工夫が必要であります。特に民家は収入もなく相当困っていますので、しっかりとした施工をしていただきたいと思います。

何時も変わらない祝辞となりましたが、皆様の健康と今後の活躍を祈念して私の言葉とさせていただきますと思います。

激励の言葉

京都市文化市民局
文化芸術都市推進室
文化財保護課
課長 中川 慶太



本日は、文化財屋根葺土養成研修並びに檜皮採取者(原皮師)養成研修の開講式がこのように盛大に執り行われますことを心からお慶び申し上げます。

また、日頃は村上会長をはじめ、全国社寺等屋根工事技術保存会におかれましては、文化財の修理事業や伝統文化の技術継承に御尽力いただいております、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本日は、文化財屋根葺土養成研修第23期生として、岸田智太郎さん、小西康介さん、藤原諒さん、古川友喜さんの4名と、檜皮採取者(原皮師)養成研修第18期生として、西谷将太さん、井上裕貴さん、井関善晴さん、益満響さんの4名、合計8名の皆様を、それぞれの研修の新入生としてお迎えできましたこと、まことに喜ばしく思います。皆様には、体を大切に怪我なく頑張ってください、これからの研修を一生の財産としていただきますようお願いいたします。

さて、今から40年以上前、当時の高度経済成長という社会環境の変化を受け、昭和50年に文化財保護法が改正され、文化財の保存に欠くことのできない伝統的な技術が保護の対象になりました。これまでの間、関係する皆様の御尽力により、技術継承について成果が挙げられてきました。

しかしながら、一方で、現在、御存知のとおり、人口減少に転じるなど、これまでに経験のない社会状況の急

激な変化を迎えております。

文化財の保存技術につきましても、修理する資材や原材料の確保がますます困難になり、かつては容易に調達できていた資材も、手をかけて育てていく時代になっており、厳しい状況にあります。

そのような中、全国社寺等屋根工事技術保存会の伝統を受け継ぎながら工夫を重ねて発展してきた技術をしっかり引き継いでいただいている取組が、文化財保護にとって、大きな意味を持っており、また、ここ京都市文化財建造物保存技術研修センターで技術を学ばれ、全国の文化財修復の現場で御活躍されることはまことに心強い限りです。

京都市におきましても、文化財保護にとって大きな転換点を迎えていることを受け、これまでの取組の成果や課題を踏まえ、文化財を次世代に継承するために求められる文化財保護の在り方について、包括的な検討を行うことが必要と考え、「これからの文化財保護の在り方」について、京都市文化財保護審議会で審議するなど、全国のモデルとなるべく検討を進めることとしております。全国社寺等屋根工事技術保存会の取組や皆様の御経験をお教えいただき、共に文化財保護の取組を推進させていただきたいと考えておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

結びにあたりまして、研修生の皆様が文化財の保存技術者として研鑽に励んでいただき、将来の文化財の守り手として御活躍いただきますこと、並びに、本日御出席いただいております皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、簡単ではございますが激励の言葉とさせていただきます。



平成30年度 指導者研修会

期 日 ● 平成30年6月22日(金)
会 場 ● 文化財建造物保存技術研修センター
講 師 ● 文化庁 地域文化創生本部長
文化財調査官 岡本 公秀
文化財調査官 村上 佳代

今年度の指導者研修会は、文化庁地域文化創生本部長から文化財調査官の岡本公秀様と村上佳代様にお越し頂き、「これからの文化財の保存と活用について」と題して岡本様には「歴史文化基本構想」、村上様には「観光の視点から」をご講義いただきました。

「歴史文化基本構想」では地域の文化財の特性に応じて、文化財の類型に捉われない多角的な視点から見直し、有形・無形、指定・未指定にかかわらず、総合的に把握することで多様な文化財を群として一体的に捉え、その周辺環境まで含めて総合的に保存・活用することを目的としたものとの説明を受けました。このことは文化財の持つ新たな価値を明らかにできるようになり、その地域の歴史文化との関わりとともに、人々が文化財をより身近に感じられるようになります。その結果、社会全体で

文化財を支える気運が高まることに繋がっていくとお聞きしました。

「観光の視点から」では、国家戦略の一つとして、地域創生の起爆剤となる観光資源を整備し、年々増加する外国人観光客を長期に滞在させるため、2020年までに文化財を核とする観光拠点を全国で200か所整備し、あわせてわかりやすい多言語解説など1000事業を展開し、集中的に支援強化していく国家のビジョンをお聞きしました。その成功事例の一つとして山口県萩市での「萩まちじゅう博物館構想」の成果と、「ワンコイントラスト運動」や「インバウンド対策」の取り組みなどの知識を得ることができました。

今回の研修会を通して、「文化財を中核とした観光拠点形成による経済活性化」の一端を担えるよう我々も植物性屋根における伝統技術を継承しつつ文化財の修復のみならず、地方地域活性化の為に今回学んだ知識を生かしていけるような取り組みを行っていかねばいけないと感じました。

最後になりましたがお忙しい中、講師を引き受けてくださいました岡本様と村上様にはこの場を借りて深く御礼申し上げます。



岡本 公秀様による講演風景



村上 佳代様による講演風景



何かを得ようと真剣に聞き入る参加者たち



質疑応答

文化財屋根葺士養成研修 第23期生 前期研修 始まる

平成30年度文化財屋根葺士養成研修 第23期は、全国各地から4名の研修生を迎え、4月13日の開講式の後、5月8日より本格的に開始しました。

この研修は、屋根葺経験の少ない者や初めての者を対象に実施するもので、材料整形や屋根葺の基本となる技術の習得はもちろん、実習以外にも日本建築史や構造へ

の理解などの座学を含め、植物性屋根全体への理解に繋がる基礎を固めていただきたいと思います。

まだ始まったばかりの研修ですが、一人一人が目的意識をもって有意義な研修となるよう心から願います。

今後ご指導のほどよろしく申し上げます。



座学



刃物研ぎ



あて台作り



材料整形



現場研修



現場研修

特別講座

【30年度の予定】

●定員は50名程度(参加費無料)

●参加希望の方は事務局までご連絡ください。

E-mail : info@syajiyane-japan.org

第1回講座 「禅の食礼からみる茶懐石」

日時 ● 平成30年6月9日(土) 14:00～16:00
会場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

終了しました

懐石 万惣
店主 中尾 英力



昭和46年11月16日生 富山県在住
昭和47年 世界料理オリンピック(ドイツ)で日本人初となる金メダリストの父、中尾甚平に師事。西洋料理を学ぶ。平成元年から藤本登志夫(京都)に師事。京懐石を学ぶ。全国の著名な茶人との交流の中、独学で茶道習得。平成13年 父が営む万惣を継ぎ、現在に至る。

平成17・18・19年 淡交社(京都)のカルチャー「懐石の頂き方」の懐石を担当。現在、懐石ケータリング・懐石講習等、富山を中心に東京、京都、石川など全国を回る。一般社団法人 懐石協会 代表理事

(内容については次号に掲載予定)

第2回講座 「翠簾一筋 ～伝統と技～」

日時 ● 平成30年12月8日(土) 14:00～16:00
会場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

みす平
8代目 前田 平八



昭和33年3月12日 京都市生まれ。
寛政初期創業の「みす平」の長男として生まれる。
東山高等学校卒業後、経理専門学校にて簿記を学ぶ。
その後、八代目を継ぐ意志を持ち家業に従事し、現在に至る。

[主な納品先]

- ・宮内庁、各神社、仏閣
- ・ニューヨークメトロポリタン美術館 日本ギャラリー
- ・奈良 春日大社 御神宝翠簾
- ・平泉 中尊寺 御本堂翠簾

会 員 名 簿

公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会の会員名簿をご紹介します。届け出内容等に変更がございましたら、事務局 Tel 075-541-7727 か Fax 075-532-4064 までお知らせください。

■法人登録(檜皮・柿・採取部門)

No.	正会員名	代表者名 (担当者名)	〒	住 所	TEL	FAX
1	(有)池田社寺	池田 民哉 (池田 民哉)	815-0037	福岡市南区玉川町17-19	092-541-7593	092-512-8288
2	(有)石塚商店	石塚 直幸 (石塚 直幸)	669-3154	兵庫県丹波市山南町梶525-1	0795-76-1064	0795-76-2119
3	岩崎社寺工業(株)	岩 崎 剛 (岩 崎 剛)	526-0814	滋賀県長浜市石田町493-2	0749-62-4743	0749-62-5628
4	(有)大城戸社寺工業	大城戸 昇 (大城戸 昇)	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町黒田432	0795-28-4631	0795-28-4682
5	(株)大野檜皮工業	大野 浩二 (大野 浩二)	669-3101	兵庫県丹波市山南町上滝855	0795-78-0352	0795-71-4129
6	(株)小山社寺工業所	小山 真人 (小山 真人)	812-0054	福岡市東区馬出5-36-43	092-641-4847	092-641-2278
7	狩野興建(株)	狩野 邦成 (狩野 邦成)	812-0054	福岡市東区馬出5-26-11	092-651-2345	092-651-3060
8	(株)河村社寺工殿社	河村 雅史 (河村 雅史)	520-0113	滋賀県大津市坂本2-8-33	077-578-0229	077-578-0169
9	岸田工業(株)	岸田 信行 (岸田 信行)	607-8464	京都市山科区上花山久保町74-1	075-593-2325	075-581-9498
10	(有)吉川社寺	吉川 晋二 (吉川 昌治)	699-1822	島根県仁多郡奥出雲町下横田457-1	0854-52-2026	0854-52-2168
11	栗山木工(有)	栗山 弘忠 (栗山 弘忠)	399-5504	長野県木曾郡大桑村野尻2271-6	0264-55-2134	0264-55-4034
12	(株)児島工務店	児島 研輔 (児島 研輔)	700-0827	岡山市北区平和町4-7	086-232-2223	086-223-9424
13	(有)社寺工芸大紀堂	大城戸 一秀 (大城戸 一秀)	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町黒田268-2	0795-28-3005	0795-28-4784
14	田中社寺(株)	田中 敬二 (田中 敬二)	500-8483	岐阜市加納東丸町2-20	058-272-2871	058-276-1329
15	谷上社寺工業(株)	谷上 永晃 (谷上 永晃)	633-0053	奈良県桜井市谷旭町904-2	0744-42-2790	0744-42-5389
16	(株)友井社寺	友井 辰哉 (友井 辰哉)	669-3111	兵庫県丹波市山南町阿草1302	0795-78-0810	0795-78-0002
17	(株)松村工務店	松村 正徳 (松村 正徳)	529-1521	滋賀県東近江市蒲生岡本町915	0748-55-2105	0748-55-0600
18	(有)宮川屋根工業	宮川 義史 (宮川 義史)	604-0985	京都市中京区麩屋町通竹屋町上ル舟屋町415	075-231-3396	075-212-2040
19	(株)村上社寺工芸社	村上 英明 (村上 英明)	669-3103	兵庫県丹波市山南町篠場443-1	0795-78-0158	0795-78-0708

■法人登録(茅部門)

No.	正会員名	代表者名 (担当者名)	〒	住 所	TEL	FAX
20	明石屋根工事(有)	長崎 貴宣 (長崎 貴宣)	701-0303	岡山県都窪郡早島町前潟126-2	086-482-0056	086-483-1212
21	(株)上野建設	上野 千代榮 (上野 千代榮)	037-0316	青森県北津軽郡中泊町芦野字堤の袖148-75	0173-57-3825	0173-57-3227
22	(有)大西茅葺	大西 謙之 (大西 謙之)	578-0924	大阪府東大阪市吉田1丁目12-20	072-961-6015	072-961-6015
23	(株)奥日田美建	三苦 義久 (三苦 義久)	877-0038	大分県日田市大字竹田375-11	0973-22-3423	0973-22-3423

24	(有)熊谷産業	熊谷 秋雄 (熊谷 秋雄)	986-0202	宮城県石巻市北上町橋浦南釜谷崎 340	0225-67-2045	0225-67-2032
25	ニシオサプライズ(株)	西尾 晴夫 (西尾 晴夫)	601-0751	京都府南丹市美山町島英サ29	0771-75-5088	0771-75-5087
26	美山茅葺(株)	中野 誠 (中野 誠)	601-0712	京都府南丹市美山町北高倉69	0771-77-0649	0771-77-0650
27	山城萱葺(株)	山田 雅史 (山田 雅史)	610-0121	京都府城陽市寺田中大小100	0774-55-6912	0774-27-2186

■個人登録(檜皮・柿・採取部門)

No.	正会員名	屋号	〒	住所	TEL	FAX
28	大西安夫	播磨社寺工芸	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町黒田1000	0795-28-2451	0795-28-2451
29	木下岩男	木下社寺建築	526-0814	滋賀県長浜市石田町588	0749-62-7160	0749-62-7186
30	楠本浩史	檜皮葺古家	648-0211	和歌山県伊都郡高野町高野山73-4	0736-56-2154	0736-56-2158
31	小西繁俊	小西工芸	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山526-2	07463-2-8510	07463-2-8510
32	阪上卓	阪上組	648-0037	和歌山県橋本市賢堂182	0736-32-0791	0736-32-0791
33	佐々木真	(有)ひわだや	753-0036	山口市円政寺町5-4	083-922-1651	083-922-1800
34	杉本惣一	(有)屋根惣	616-8041	京都市右京区花園寺ノ前町26	075-464-5970	075-464-5970
35	長谷部直之	溝口屋根工務	602-0036	京都市上京区室町通今出川上ル西 入蒔鳥屋町143	075-451-3563	075-415-1388
36	山香正	正藤社寺	872-0103	大分県宇佐市北宇佐1551	0978-37-3393	0978-37-3393

■個人登録(茅部門)

No.	正会員名	屋号	〒	住所	TEL	FAX
37	杉山信義	飛騨かやぶき	501-5417	岐阜県高山市荘川町野々俣571-21	05769-2-2555	05769-2-2036
38	隅田隆蔵	茅葺隅田	633-2136	奈良県宇陀市大宇陀区大熊579	0745-83-2870	0745-83-2870
39	田中正光	山田茅葺業	632-0121	奈良県天理市山田町2252	0743-69-2198	0743-69-2198

■名誉会員

No.	名誉会員名	〒	住所	TEL	FAX
1	岩崎長蔵	526-0814	滋賀県長浜市石田町493-2	0749-62-4743	0749-62-5628
2	小山儀一郎	812-0054	福岡市東区馬出5-36-43	092-641-4847	092-641-2278
3	河村直良	520-0113	滋賀県大津市坂本2-8-33	077-578-0229	077-578-0169
4	岸田重信	607-8464	京都市山科区上花山久保町74-1	075-593-2325	075-581-9498
5	熊谷貞好	986-0202	宮城県石巻市北上町橋浦南釜谷崎340	0225-67-2045	0225-67-2032
6	長崎真知夫	701-0303	岡山県都窪郡早島町前湯126-2	086-482-0056	086-483-1212
7	松村正義	529-1521	滋賀県東近江市蒲生岡本町915	0748-55-2105	0748-55-0600
8	宮川友一	604-0985	京都市中京区麩屋町通竹屋町上ル舟屋町415	075-231-3396	075-212-2040

(2018.4.1現在・第1回改訂版5.15)

■賛助会員

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
1	社 寺	關 伽 井 坊	744-0024	山口県下松市末武上398	0833-44-8409
2		天 野 山 金 剛 寺	586-0086	大阪府河内長野市天野町996	0721-52-2046
3		伊 賀 八 幡 宮	444-0075	愛知県岡崎市伊賀町東郷中86	0564-26-2789
4		石 山 寺	520-0861	滋賀県大津市石山寺1-1-1	077-537-0013
5		石 上 神 宮	632-0014	奈良県天理市布留町384	0743-62-0900
6		巖 島 神 社	739-0588	広島県廿日市市宮島町1-1	0829-44-2020
7		出 雲 大 社	699-0701	島根県出雲市大社町杵築東195	0853-53-3100
8		石 清 水 八 幡 宮	614-8588	京都府八幡市八幡高坊30	075-981-3001
9		宇 佐 神 宮	872-0102	大分県宇佐市南宇佐2859	0978-37-0001
10		永 保 寺	507-0014	岐阜県多治見市虎溪山町1-40	0572-22-0351
11		比 叡 山 延 暦 寺	520-0116	滋賀県大津市坂本本町4220	077-578-0551
12		大 崎 八 幡 宮	980-0871	宮城県仙台市青葉区八幡4-6-1	022-234-3606
13		大 神 神 社	633-8538	奈良県桜井市三輪1422	0744-42-6633
14		大 山 祇 神 社	794-1393	愛媛県今治市大三島町宮浦3327	0897-82-0032
15		意 賀 美 神 社	598-0024	大阪府泉佐野市上之郷45	072-468-0540
16		尾 張 大 國 霊 神 社	492-8137	愛知県稲沢市国府宮1-1-1	0587-23-2121
17		園 城 寺	520-0036	滋賀県大津市園城寺町246	077-522-2238
18		柏 原 八 幡 宮	669-3309	兵庫県丹波市柏原町柏原字八幡山1-1	0795-72-0156
19		鹿 島 神 宮	314-0031	茨城県鹿嶋市宮中2306-1	0299-82-1209
20		春 日 大 社	630-8212	奈良市春日野町160	0742-22-7788
21		香 取 神 宮	287-0017	千葉県香取市香取1697	0478-57-3211
22		賀 茂 神 社	671-1332	兵庫県たつの市御津町室津74	079-323-3171
23		賀 茂 御 祖 神 社	606-0807	京都市左京区下鴨泉川町59番地	075-781-0010
24		賀 茂 別 雷 神 社	603-8047	京都市北区上賀茂本山339	075-781-0011
25		吉 備 津 神 社	701-1341	岡山市北区吉備津931	086-287-4111
26		吉 備 津 彦 神 社	701-1211	岡山市北区一宮1043番地	086-284-0031
27		清 水 寺 (京 都)	605-0862	京都市東山区清水1-294	075-551-1234
28		清 水 寺 (安 来)	692-0033	島根県安来市清水町528	0854-22-2151
29		金 峯 山 寺	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山2498	0746-32-8371
30		杭 全 神 社	547-0046	大阪市平野区平野宮町2-1-67	06-6791-0208
31		熊 野 那 智 大 社	649-5301	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山1	0735-55-0321
32		熊 野 本 宮 大 社	647-1731	和歌山県田辺市本宮町本宮1110	0735-42-0009

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
33	社 寺	気 多 大 社	925-0003	石川県羽咋市寺家町ク1-1	0767-22-0602
34		高 良 大 社	839-0851	福岡県久留米市御井町1	0942-43-4893
35		國 前 寺	732-0048	広島市東区山根町32番1号	082-261-4578
36		国 分 寺 (備 中)	719-1123	岡山県総社市上林1046	0866-92-0037
37		金 剛 輪 寺	529-1202	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺873	0749-37-3211
38		護 国 八 幡 宮	932-0836	富山県小矢部市埴生2992	0766-67-1220
39		西 明 寺	522-0254	滋賀県犬上郡甲良町池寺26	0749-38-4008
40		真 珠 庵	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町52	075-492-4991
41		慈 眼 院	598-0021	大阪府泉佐野市日根野626	072-467-0092
42		十 三 神 社	640-1235	和歌山県海草郡紀美野町野中493	073-495-3755
43		浄 土 寺	722-0043	広島県尾道市東久保町20-28	0848-37-2361
44		住 吉 神 社	751-0805	山口県下関市一の宮住吉1-11-1	0832-56-2656
45		住 吉 大 社	558-0045	大阪市住吉区住吉2-9-89	06-6672-0753
46		瑞 龍 寺	933-0863	富山県高岡市関本町35	0766-22-0179
47		善 光 寺	380-0851	長野市元善町491	026-234-3591
48		談 山 神 社	633-0032	奈良県桜井市多武峰319	0744-49-0001
49		醍 醐 寺	601-1325	京都市伏見区醍醐東大路町22	075-571-0002
50		大 徳 寺	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町53	075-491-0019
51		太 宰 府 天 満 宮	818-0195	福岡県太宰府市宰府4-7-1	092-922-8225
52		竹 林 寺	739-2208	広島県東広島市河内町入野3103	082-437-1171
53		智 満 寺	427-0001	静岡県島田市千葉254	0547-35-6819
54		長 福 寺	701-2602	岡山県美作市真神414	0868-74-2026
55		津 島 神 社	496-0851	愛知県津島市神明町1	0567-26-3216
56		出 羽 三 山 神 社	997-0292	山形県鶴岡市羽黒町手向字手向7	0235-62-2355
57		東 福 寺	605-0981	京都市東山区本町15丁目778	075-561-0087
58	那 谷 寺	923-0336	石川県小松市那谷町ㄥ122	0761-65-2111	
59	那 智 山 青 岸 渡 寺	649-5301	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山8	0735-55-0001	
60	南 宮 大 社	503-2124	岐阜県不破郡垂井町宮代1734-1	0584-22-1225	
61	野 上 八 幡 宮	640-1141	和歌山県海草郡紀美野町小畑625	073-489-2162	
62	日 御 碕 神 社	699-0763	鳥根県出雲市大社町日御碕455	0853-54-5261	
63	日 吉 大 社	520-0113	滋賀県大津市坂本5-1-1	077-578-0009	
64	広 八 幡 神 社	643-0064	和歌山県有田郡広川町上中野206	0737-62-2371	
65	富士山本宮浅間大社	418-0067	静岡県富士宮市宮町1-1	0544-27-2002	

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
66	社 寺	法 隆 寺	636-0115	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1	0745-75-2555
67		法 華 経 寺	272-0813	千葉県市川市中山2-10-1	047-334-3433
68		本 山 寺	708-1536	岡山県久米郡美咲町定宗403	0868-62-1050
69		御 上 神 社	520-2323	滋賀県野洲市三上838	077-587-0383
70		御 調 八 幡 宮	722-1513	広島県三原市八幡町宮内13	0848-65-8652
71		三 船 神 社	649-6123	和歌山県紀の川市桃山町神田101	0736-66-1620
72		美 保 神 社	690-1501	島根県松江市美保関町美保関608	0852-73-0506
73		妙 成 寺	925-0002	石川県羽咋市滝谷町ヨ1	0767-27-1226
74		宗 像 大 社	811-3505	福岡県宗像市田島2331	0940-62-1311
75		八 坂 神 社	563-0043	大阪府池田市神田4-7-1	072-751-3790
76		吉 野 水 分 神 社	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山1612	07463-2-3012
77		龍 源 院	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町82-1	075-491-7635
78		瑠 璃 光 寺	753-0081	山口市香山町7-1	083-922-2409
79		六 所 神 社	444-0864	愛知県岡崎市明大寺町字耳取44	0564-51-2930
1	そ の 他	神 宮 司 庁 営 繕 部	516-0023	三重県伊勢市宇治館町1	0596-24-1111
2		高 林 家 住 宅	591-8037	大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町5-647	072-255-6998

(2018.4.1 現在)

■ 準会員

[五十音順]

No.	氏名
1	青木 胤勲
2	青木 照幸
3	青山 亨
4	赤嶺 尚耶
5	赤嶺 怜
6	朝野 達也
7	芦田 健太
8	蘆田 祐明
9	足立 健一
10	足立 大
11	安部 悟司
12	飯野 映稚
13	池田 陽輔
14	井阪 智
15	石井 潤
16	石井 規雄
17	石川 良三
18	石塚 健一
19	井関 善晴
20	市原 健
21	一色 律男
22	伊藤 貴弘
23	伊藤 延行
24	伊藤 元輝
25	伊東 洋平
26	糸賀 一道
27	井上 裕貴
28	居原田 浩樹
29	入江 匠
30	岩崎 正
31	上野 英樹
32	上村 淳
33	瓜生 玉樹
34	大崎 悠
35	大西 康純
36	大野 沙織
37	大野 隼矢
38	岡 祐紀
39	緒方 伸也
40	岡野 史和
41	岡本 葉澄
42	奥田 治郎
43	奥田 正博
44	奥田 讓
45	尾崎 良助
46	小澤 翔太
47	方山 和也
48	勝部 哲也
49	加藤 貴規
50	金谷 史男

No.	氏名
51	金 磯 豊
52	包國 眞匠
53	金子 英生
54	上出 健
55	亀井 輝彦
56	嘉本 洋士
57	川田 徳宏
58	河野 修二郎
59	菊池 保
60	岸田 智太郎
61	岸田 直彦
62	北川 文廣
63	吉川 圭一
64	吉川 晋二
65	木下 和也
66	木下 真介
67	木村 健太
68	清田 幸臣
69	國本 雅史
70	栗山 光博
71	栗山 雄二
72	栗山 芳博
73	小池 一平
74	古川 一敏
75	児島 真介
76	児玉 典史
77	後藤 哲夫
78	小西 康介
79	小西 繁信
80	小林 正之
81	小原 一樹
82	駒 宏樹
83	近藤 竜太
84	酒井 慶伍
85	寒河江 清人
86	佐々木 孝則
87	澤田 昌己
88	塩田 隆司
89	須賀 均
90	須賀 将志
91	杉井 喜雄
92	杉谷 功
93	高木 諒
94	大下 倉優
95	高島 優雅
96	高平 勝也
97	竹嶋 大貴
98	竹森 暢哉
99	武山 貞秋
100	立木 覚士

No.	氏名
101	田中 順也
102	田中 慎一
103	田中 貴也
104	田中 智紗衣
105	田原 一生
106	寺田 美乃里
107	戸梶 憲幸
108	時長 祐貴
109	永瀬 慶祐
110	中根 悠太
111	長野 直人
112	永原 光敬
113	中村 裕司
114	中森 千尋
115	西 裕之
116	西谷 将太
117	西堀 大樹
118	西村 聡央
119	西村 信生
120	沼澤 修一
121	野谷 嘉邦
122	BAATARSUREN BAT ERDENE
123	橋本 浩太郎
124	林 直希
125	原田 暢俊
126	東 友一
127	檜 篤広
128	平田 将大
129	平野 健太郎
130	平野 裕也
131	廣内 翔
132	深本 英昭
133	福岡 亮太
134	藤中 竜也
135	藤原 諒
136	洲上 大輔
137	古川 友喜
138	細見 和希
139	細見 知憲
140	細見 裕
141	堀内 博樹
142	堀江 栄行
143	本多 亮貴
144	毎熊 徳満
145	横原 孝宜
146	益満 響
147	松木 裕紀
148	松島 俊一
149	松田 哲也
150	松村 省弥

No.	氏名
151	松村 純孝
152	松村 有記
153	三上 直
154	三木 宏祐
155	道繁 康
156	三ツ出 俊平
157	緑川 幹雄
158	峰地 幹太
159	三又 誠也
160	向田 学
161	村岡 伸康
162	村上 章浩
163	村上 貢章
164	森 壮馬
165	森山 淳希
166	門馬 龍輔
167	矢野 友則
168	山口 成貴
169	山口 宗平
170	山田 勇生
171	湯田 詔奎
172	湯野 尚一郎
173	吉川 一生
174	吉竹 秀紀
175	余宮 祥平
176	和田 琢男
177	渡辺 昌弘
178	渡部 雄太

(2018.4.1現在)

豪雨で被害を受けられました皆様へ

平成 30 年 7 月豪雨により亡くなられた方々へのご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様及びご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

発行所

京都市東山区清水二丁目 205-5
文化財建造物保存技術研修センター内



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

TEL 075-541-7727 FAX 075-532-4064
<http://www.shajiyane-japan.org>

古文化 第117号

平成 30 年 7 月 31 日発行

あ と が き

北海道や中部地方なども含め、西日本を中心とした記録的な豪雨は、死者数 200 人以上の甚大な被害をもたらしました。被災地では今なお警察、消防、自衛隊やボランティアの方々による不明者捜索や救援活動が続いています。被災地に足を踏み入れ、被害の大きさに驚かされるとともに、猛暑の中で行った作業の過酷さが身に沁みました。被災地域で片付けに追われている方々はくれぐれも体調に留意してください。

さて、今後もまだまだ酷暑の日は続きます。現場で作業をされている方々は、自分が思っているよりもっと手前に限界の線を引き、熱中症にならないための自己管理・対策を取っていただきたいと思います。どうか十分に気を付けて、この夏を乗り切ってください。

■ ふ る さ と 探 訪 ■

小西 繁俊さんの古里

「如意輪寺の秘宝」

(奈良県吉野郡吉野町)

小西繁俊さんのふるさと奈良県吉野郡吉野町には桜の名所としてあまりに有名な吉野山がある。標高順に海拔300～800mのところの下千本、中千本、上千本、奥千本と呼ばれているが、谷から尾根までを埋める桜樹の総数は3万本にもなるという。山の中腹、中千本の桜に抱かれるように大小の伽藍を配している仏閣が後醍醐天皇ゆかりの如意輪寺だ。寺の宝物館には天皇御使用の高坏、楠正行公が寺の扉に鏝で刻んだ辞世の跡も納められているが、是非とも拝んで頂きたいのは金剛蔵王権現さまの木造である。

仏像といえば蓮華座の上に結跏趺坐された阿弥陀如来さま、あるいは観世音菩薩さまの静謐なお顔が思い出されるのだが、如意輪寺の権現さまはそのようなイメージとはかけ離れた様相をしておられる。燃え上がる火炎を背負いつつ左足一本で立ち、今まさに悪鬼に向かって躍りかからんとする一瞬が留められていて、これほど躍動的なお姿の仏さまを私は他に知らない。真っ赤な口を開けて牙をむき玉眼を

見開いた憤怒の形相、額に輝く第3の目も忘れ難い。鎌倉時代に運慶の高弟である源慶が手がけた傑作で、重要文化財に指定されている。

宝物殿の天井にはたたみ十畳分の大きさがある如意輪観世音菩薩像が描かれている。油絵像としては日本最大で、参拝者は下に置かれた台の上に仰向けに寝そべって拝見することから「寝おがみの観音」さまと呼ばれている。

境内の祠に安置されている難切り不動尊はかつて吉野山に上る途中の不動坂に祀られていたが、前を通る牛車が坂から転落したとき乗っていた農夫の身代わりとなって左手を負傷されたという記録がある。戦後になって信者さんに「如意輪寺に行きたい」とのお告げがあり、同寺に祀られることになった。あらゆる難を断ち切ってくださる難切り不動さまだが、とくに交通安全の守護神として霊験あらたか。蔵王権現さまとは対照的にユーモラスなお顔をなさった、日本最大の石のお不動さまである。



古文化

第 117 号



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会